新しいFX取引の形態、「逆手数料」取引モデルを創出
～個人投資家が取引所となる時代に～

平成22年9月7日
SBIリクイディティ・マーケット株式会社

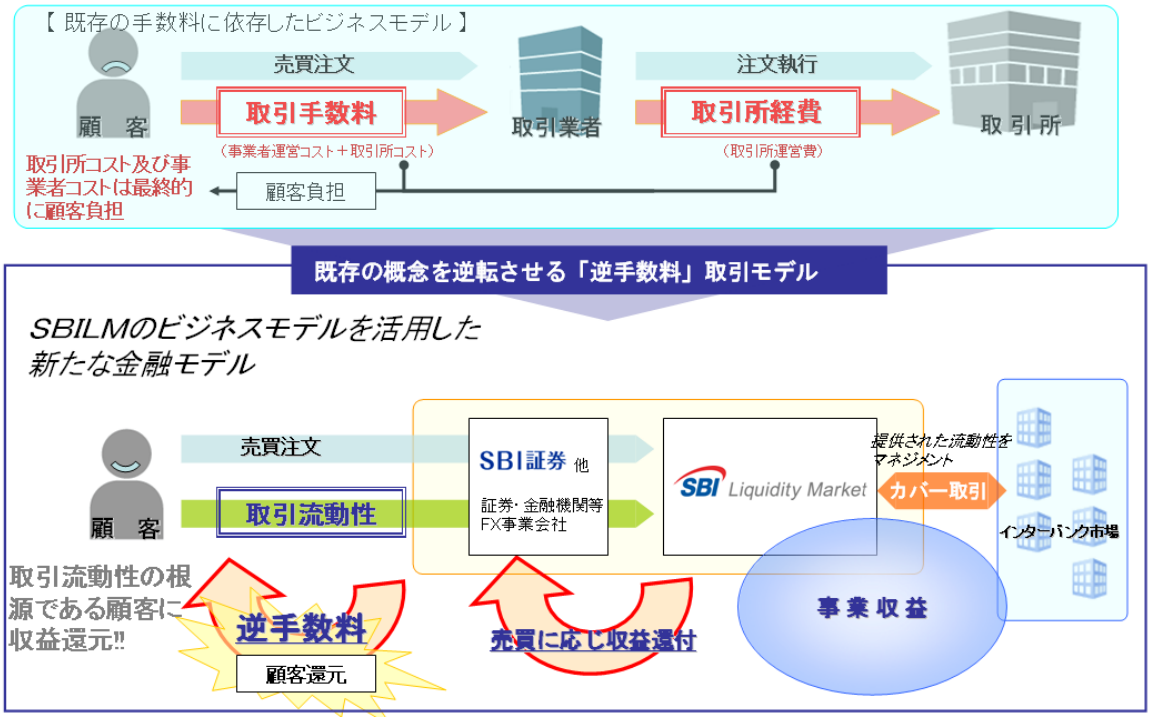
今般、当社SBIリクイディティ・マーケット株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：重光達雄）では、取引先金融商品取引業者である株式会社SBI証券を通じて、「逆手数料」という、既存の取引所取引に代表される金融サービスの常識を覆す新たな取引モデルを創出いたしました。これは、当社が展開する国内外の大手金融機関等19行からなるカウンターパーティ群を背景に独自のOTC取引所機能を有することで、SBI証券をはじめとした複数のFX取引参加業者からの取引流動性のマネジメントを行う当社ビジネスモデルの特性を活した全く新しい試みとなります。

従来の取引所取引では、手数料は投資家が取引業者に対し支払うことが常識とされ、取引所に係るコスト等についても取引業者を通して結局は投資家が負担する構図となっています。しかし、当該モデルの下では、証券や金融機関のFX取引業者からもたらされる取引流動性のマネジメントにより生じた当社事業収益の一部を当該取引業者へ還付し、取引業者はその還付収益を原資に流動性創出の真の担い手たる顧客に還元することで、あたかも個人投資家が取引毎に手数料を受け取れるかのような取引を実現可能としております。

本件「逆手数料」取引モデルの試みは、「自らリスクをとって取引に参加し市場に流動性を供給してくださる個人投資家こそがマーケットの主役であるべき」との理念のもと、個人投資家の皆様が従来の取引所的な立場となって、取引を通しての流動性提供の対価として“逆に手数料相当額の支払いを受けられる”画期的なスキームを確立させるものです。

当社は、「逆手数料」取引モデル以外にも、直近にSBI証券向けにリリースいたしました「為替レート音声読上げ機能」等、業界に先駆けた独自サービスの提供をもって投資家の皆様の市場利便性・快適性の向上を追求し続けることで、SBIグループの掲げる全力顧客還元主義の真の体現を図ってまいる所存です。
今後とも、FXサービスに新潮流を生み出す、SBIリクイディティ・マーケット株式会社の取組みにご期待ください。

【モデルイメージ】



以　上